IOWN INTEGRAL

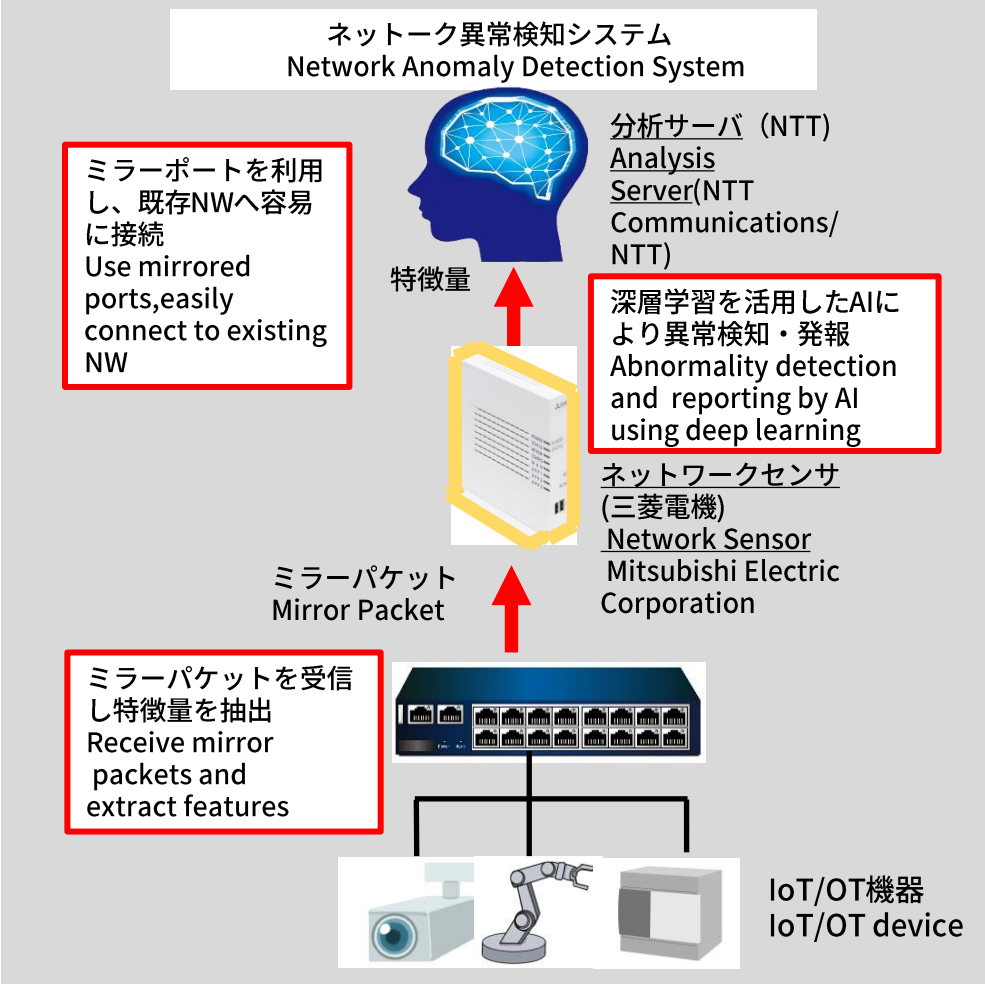
NTT R&D FORUM 2024

BUSINESS
β 03-04

AIで守るIoT・OTセキュリティ

AIによるふるまい異常検知を活用し未知のサイバー攻撃を検知してIoT・OTセキュリティを強化します

#レジリエンス



///技術課題

既存のセキュリティ対策機器／ソフトウェアの検知方式がパターンマッチングであることにより未知の攻撃に対しての検知が困難でした。

///研究目標

未知のサイバー攻撃を事前に予測・防御することにより企業の経済的損失を回避し、顧客や取引先からの信頼を高め企業価値を向上します。

---要素技術

NTT研究所独自で開発したAI（深層学習）モデルを搭載

---市中技術差異点

シグネチャに頼らず、AIを用いて監視環境の通信状態を学習することで、プロトコルに依存することなく異常を検知することが可能であり、重要インフラなど外部への通信が制限されるOT環境においても導入が容易

---適用ビジネス

重要インフラ業分野（電力・ガス・水道・通信・交通・金融・医療など）・製造業分野において、システムの早期異常検知などに適用（サービス提供中）

出展社＝日本電信電話株式会社／エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社　関連リンク＝NTTコミュニケーションズ報道発表「三菱電機とNTT Com、AIを活用した国産によるIoT・OT向けセキュリティソリューションの提供開始」(2024年5月)

問い合わせ先UR　社外連携先＝三菱電機株式会社／国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構